（参考）平成30年7月豪雨　平成30年（2018年）7月5日～7月8日

- 梅雨前線が西日本に停滞し、愛媛県では記録的な大雨となった。総降水量は鬼北町、西予市で500ミリに達し、8日に宇和島市と愛南町に大雨特別警報を愛媛県では初めて発表した。
- 今治市島しょ部、松山市北部、宇和島市吉田町で土砂災害が多発、その他、肱川など河川の越水等による甚大な浸水被害が発生した。
  ※ 当時の被害の状況とまったく同じ状況にはならないことに留意。

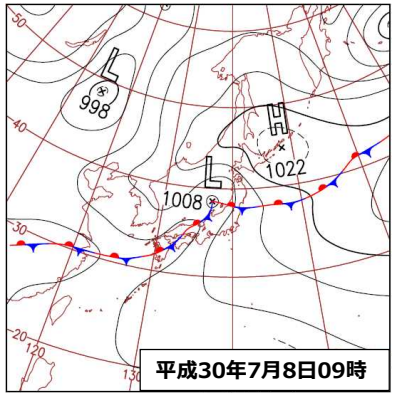
被害の状況

死者31名、負傷者35名、住家全壊625棟、住家半壊3,018棟、住家一部損壊207棟、床上浸水187棟、床下浸水2,492棟
※ 平成31年1月9日 内閣府の災害情報より

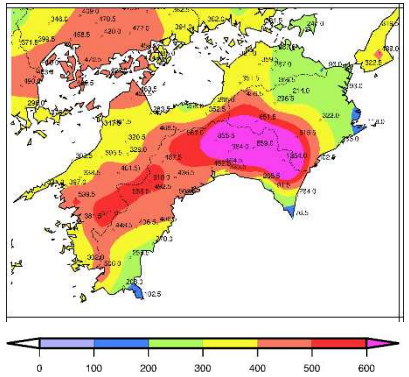
当時の降水量（平成30年7月5日～8日の期間合計値）

順位	市町村	地点	期間合計値(mm)
1	北宇和郡鬼北町	近永（チカナガ）	571.0
2	西予市	宇和（ウワ）	539.5
3	西条市	成就社（ジョウジュシャ）	468.5
4	今治市	今治（イマバリ）	463.5
5	喜多郡内子町	獅子越峠（シシゴエトウゲ）	461.5
6	今治市	玉川（タマガワ）	427.5
7	今治市	大三島（オオミシマ）	414.5
8	八幡浜市	八幡浜（ヤワタハマ）	397.0
9	伊予市	中山（ナカヤマ）	395.5
10	宇和島市	宇和島（ウワジマ）	381.5

地上天気図



アメダス期間降水量



気象庁ホームページ　災害をもたらした気象事例
（https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/2018/20180713/20180713.html　）